テーマ名：子どもの興味に寄り添い、遊びや活動の展開をしていく。

園名：神田川ほとりに花咲く保育園

背景

活動で取り組み相撲をしたり、他園と交流をしたりする中で「もっと強くなりたい」「強くなるにはどうしたらいいか」という気持ちがうまれた。
保育士等と子どもが一緒に考え、木札掛けや鉄砲柱を作ったりする等、異年齢にも活動の幅が広がった。

2024年度実施内容のまとめ

実施

「ちゃんこ鍋」ってどんな鍋なの？
絵本を通して「お相撲さん」に興味を持つ。

実施

四股名をつけて木札掛け作りに挑戦！
もっと強くなりたいから、鉄砲柱も作ろう！

実施

本物のお相撲さんと対戦してお相撲さんの強さにびっくり。
つき組さんみたいにお相撲やってみたい！

子どもたちの興味

① ちゃんこ鍋ってなんだろう。相撲ってなんだろう。

③ 四股名をつけて、三つの木の子とトーナメント戦で戦ってみたい。
もっと強くなるにはどうしたらいいのだろう。練習用の鉄砲柱を作ってみたい！
もっと色んな子と対戦してみたい。

⑤ どうしたらお相撲さんみたいに強くなれるんだろう。
つき組さんみたいに相撲をやってみたい！

環境づくり

② 栄養士が絵本の読み聞かせをし、絵本棚に絵本を用意する。絵本「おなべさんとおたまちゃん」「すもうの図鑑」
三つの木保育園と交流の際に、三つの木の子どもたちが、一緒に相撲をやりたいと言っていることを伝える。

④ 木札の写真や絵本を見せて子どもと一緒に四股名を考える。
練習用の鉄砲柱を子どもと一緒に作る。
他園との交流や、相撲交流会の場を設ける

⑥ 子どもと一緒になぜお相撲さんが強いのかを考える。
相撲交流会の様子をモニターで流したり、自由遊びで年下児も相撲を行う活動を取り入れる。

2024年度振返り

・保育者で環境の工夫や声掛け等の仕方を話し合い、子どもの思いを聞く事で、子どもの興味や活動の幅が広がった。
・園内の活動だけでなく、他園の子どもや本物に触れる交流を通し、悔しさや他人を思いやる気持ち、本物への憧れの気持ちが育まれていた。

次年度に向けて

年上児の相撲活動の姿を見て、年下児が相撲に興味を持ち「自分たちもやってみたい」という気持ちが芽生えていた。また、年上児が四股踏みや取り組み相撲の仕方、どうしたらお相撲さんみたいに強くなれるのかを年下児に伝える姿があった為、今後も異年齢で相撲の活動を取り入れ、子どもの興味に寄り添い活動を継続、展開していけるように環境や遊びを工夫していく。

テーマ名：子どもの興味に寄り添い、遊びや活動の展開をしていく。

園名：神田川ほとりに花咲く保育園

子どもたちの興味

・「ちゃんこ鍋ってなんだろう。
・「相撲」ってなんだろう。

・相撲は太らないと出来ないスポーツなのかな。
・太っていないとできないスポーツではないんだ！

環境づくり

・給食で「ちゃんこ鍋」の提供がある際に、栄養士が「おなべさんとおたまちゃん」の絵本を読み聞かせをし、絵本棚に「すもうの図鑑」を用意した。

・「相撲」に興味は持つ姿はあったが、活動の幅が広がらない為、保育士が子どもへ「取り組み相撲をやってみたい？」と聞く。
・子どもは「相撲は太らないとできないからやりたくない」と話していた為、一緒に絵本を読み太っていないお相撲さんもいる事を伝える。

・三つの木保育園と交流の際に、三つの木の子が一緒に相撲をやりたいと言っていることを伝える。

担当者の気づきポイント

活動の幅が広がらない原因を保育者が環境や声掛けの配慮を話し合い、また、子どもの思いを聞き焦点をあてることで、子どもの「やってみたい！」という興味や活動の幅が広がった。

テーマ名：子どもの興味に寄り添い、遊びや活動の展開をしていく。

園名：神田川ほとりに花咲く保育園

子どもたちの興味	環境づくり
・四股名をつけたら、三つの木保育園の子とトーナメント戦で取り組み相撲をやってみたい！ 	・子どもたちから四股名をつけたいと話が出たため、実際に木札の写真や絵本を見て四股名を考えた。 ・子どもたちの気持ちを高める為に、子どもと一緒に木札掛けを作り、幼児室に置いた。
・三つの木と取り組み相撲を通して「もっと強くなりたい」「もっと強くなるにはどうしたらいいんだろう」という気持ちがうまれる。	・強くなるにはどうしたら良いか子どもたちと考える。
・練習用の鉄砲柱を作ろう！ 	・壁に向かって張り手をしている姿を見て、壁ではなく練習ができるものを作れないか声掛けする。 ・家庭にも呼びかけをし、段ボールを集め子どもたちと一緒に鉄砲柱を作る。
・もっと色んな子と対戦してみたい！	・スポーツプロジェクトでも相撲を取り入れる。 ・相撲交流会で本物の力士と対戦をしたり、他園の子と対戦をする場を設ける。

担当者の気づきポイント

他園の子と交流をする中で、勝敗に関わらず「もっと強くなりたい」「強くなるにはどうしたらいいか」という気持ちが芽生えていた。また、負けてしまった相手を思いやる気持ち等、他園との交流を通し様々な感情が育まれていた。

テーマ名：子どもの興味に寄り添い、遊びや活動の展開をしていく。

園名：神田川ほとりに花咲く保育園

子どもたちの興味

・どうしたらお相撲さんみたいに強くなれるんだろう。

・つき組さんみたいにお相撲をやってみたい！

環境づくり

・子どもと一緒にどうしたらお相撲さんみたいに強くなれるのか考える。
・お相撲さんが話していた「たくさん食べると強くなれるよ」と話していたことを給食の時間に栄養士と振り返り、たくさん食べることも大切である事を伝える。

・モニターを使用し、相撲交流会の様子を動画で流し、他クラスの子も相撲を知る機会を設ける。
・年下児からも「相撲をやってみたい！」と声があがった為、自由活動に異年齢での相撲活動を取り入れた。

担当者の気づきポイント

・本物の力士と交流することで、本物への憧れの気持ちや「どうしたらお相撲さんみたいに強くなれるのか」感じる姿があった。また、保育士等や保護者、年下児に交流会で体験したことを表現したり思いを伝えたりしていた。

テーマ名：子どもの興味に寄り添い、遊びや活動の展開をしていく。

園名：神田川ほとりに花咲く保育園

まとめ

・絵本を読む、絵本棚に絵本を置くだけだと「相撲」に興味を持つ姿はあったが活動の幅を広げるのが難しかった。
・保育者が子どもたちに「相撲」に対する思いを聞くことで、相撲をやりたくない原因が分かり、子どもと一緒に考えることで子どもたちの「やってみたい！」という気持ちがうまれ一気に活動の幅が広がった。
・他園と取り組み相撲の交流をする事で子ども自身が、悔しさやもっと強くなりたい、強くなるにはどうしたらよいか、様々な気持ちがうまれ、自分たちで考え主体的に行動していた。
・子どもの興味に寄り添い活動を進めていくことで、一人も嫌がることなく一人ひとり楽しんで相撲に取り組んでいた。
・交流会を通して、自ら体験したことや思いを伝える姿があり表現する力にもつながった。
・年下児が年上児の様子を見ることで、年下児からも「やってみたい！」という思いがうまれ、異年齢でも活動の幅が広がった。